

2019年7月25日

駐日各国外交団がウェザーニューズを視察

7月10日、駐日各国外交団40ヶ国40名の大使、外交官の皆さまが、株式会社ウェザーニューズグローバルセンターを視察しました。この視察は、外務省と公益財団法人ちば国際コンベンションビューローの共催で実施されたもので、千葉市の企業、研究・教育施設を視察する一環として、2020年の東京国際大会の競技会場となっている幕張メッセや、幕張新都心を代表する企業であるウェザーニューズが対象となりました。

グローバルセンターでは、海運、航空をはじめ、道路、鉄道など交通インフラ向けサービスのほか、流通、電力といった多岐にわたるサービスの運営現場をご覧いただきました。また、日本における民間気象会社の役割や活動、その社会的な効果などの情報収集と意見交換が行われ、特にウェザーニューズ独自の予測技術、観測インフラの特徴と必要性に関する質問や、新たな分野への展開に期待する声をいただきました。



グローバルセンター視察の様子



視察いただいた駐日外交団の皆さま

参加いただいた各国の大使、外交官の皆さまからは、「自分の国では気象情報が機能しておらず、ウェザーニューズのノウハウをぜひ共有してほしい」、「気象情報をビジネスにする現場が見られてよかった」、「自分の国でも必要を感じた。検討したいので継続的に意見交換したい」などのお言葉をいただきました。

ウェザーニューズは、気象情報を積極的に利活用し、全世界の防災・減災や経済活動に貢献できるよう関係機関との連携を深めながら努力を続けて参ります。

令和元年7月12日

(株)ウェザーニューズ
取締役執行役員 最高運営責任者
安部 大介 様

令和元年度駐日外交団の地方視察ツアーについて（御礼）

今般7月10日に実施いたしました標記ツアーにおきましては、御社への訪問・視察を受け入れていただくなど多大な御協力を賜り、成功裡に終了することができました。深く御礼申し上げます。

ツアーを通じて、外交団一行は、幕張新都心を中心とした千葉市の産業・学術・教育等の関連施設を視察しましたが、特に御社では、先端技術を用いた気象情報の提供という社会的に意義のある事業について、理解を深めることのできる貴重な機会となりました。多くの参加者から、非常に有意義な視察であったとの声を聞いております。今回の訪問を通じて御社の魅力が世界に発信され、事業の益々の発展に繋がりますことを期待しています。

当省としては、地方視察ツアーに加え、本邦での各種セミナー、また、在外公館の活用を通じて日本の各地方の魅力の発信や産業の紹介を行っております。諸外国への我が国の魅力の発信を今後とも広く積極的に推進してまいりたく、引き続き当省の取組に対する御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

略儀ながら、本状をもちまして、御礼の御挨拶に代えさせていただきます。

外務省大臣官房総務課地方連携推進室

外務省からいただいたお礼状